

## 平成17年度京丹後市予算について

『ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち』を将来像として掲げ、平成16年4月1日に誕生した京丹後市の平成17年度予算につきましては、昨年度の旧町予算を踏襲した予算とは異なり、新市政による合併後、初めての年間を通した本格的な予算編成となりました。

ご承知のとおり、国・地方とも財政状況は極めて厳しく、国においては「三位一体の改革」、地方においては「行財政改革」を例外なく実施しており、本市につきましても、昨年8月に「行財政改革推進室」を設置したこともあり、平成17年度は『行財政改革元年』と位置付けのスリム化・簡素効率化を図るため、具体的な取り組みを実施していきます。

本市の財政状況は、合併準備等に係る地方債残高の増加、基金の減少、市税についても長引く不況により伸び悩み、加えて、昨年秋に襲来した台風23号による激甚災害による復旧経費も予算計上したこともあり、極めて厳しい予算編成となりましたが、地方交付税を最大限見込むとともに行政内部経費の削減を図り、また、山積する行政課題・多様化する住民要望に対応していくため、基金繰入金、市債などを後年度の財政運営を考慮しながらも最大限に見積もり、財源を確保しています。

なお、財政状況が厳しい中、市民との協働、市民に開かれた透明性の高い市政を推進し、もって市民の市政に対する理解度を深めていただくこと願い、市民総監視の中での予算編成に資するため、予算編成の途中の段階で地域要望の第1次査定状況を公開し、地域要望の予算措置を再度確認していただく取り組みも実施したところでございます。

結果、京丹後市の平成17年度一般会計予算としましては、289億8,000万円

## 前年度予算比較

311億2,500万円（旧町分除く）	21億4,575万円（ 6.9%）
356億円（旧町分含む）	66億2,000万円（ 18.6%）

となり、超緊縮型の予算としています。これは、合併後2年目の予算となり、京丹後市本来の適正な予算規模に一步近づけたことによるものであり、今後さらに類似団体、同規模団体の予算規模を参考とし適正規模を図っていく必要がございます。

京丹後市には、一般会計の他に14種類の特別会計と水道事業、病院事業という2つの企業会計を設置しております。

特別会計の予算総額は、227億2,380万円で前年度予算総額270億1,760万円と比べ42億9,380万円、15.9%の減額となりましたが、一般会計と同様に実質的な比較としましては前年度比6.9%の減となっております。また、企業会計の予算総額は、77億4,927万円で前年度予算総額82億7,137万円に比べ5億2,210万円、6.3%の減額となっています。

平成17年度の京丹後市の総予算規模としましては、594億5,307万円  
前年度予算比較

638億 573万円 (旧町分除く)	43億 5,266万円 ( 6.8%)
708億 8,897万円 (旧町分含む)	114億 3,590万円 ( 16.1%)

次に、平成17年度の主な事業内容ですが、現在、京丹後市総合計画を策定中であり  
ますが、合併時の新市建設計画の将来像を実現するための3つの基本的な考え方  
(基本理念)

「豊かな自然や歴史・文化の恵みを住民のくらしに積極的に活かしていきます」

「ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします」

「ひとが育ち、未来に飛躍するにぎわいのあるまちづくりを進めます」

を念頭に置きまして、京丹後市として活力と魅力あるまちづくりを推進するため、非常に  
厳しい財政状況ではありますが、合併直後の住民生活に支障が生じることのないよう、  
また、厳しい中にも夢のある新規事業、産業の活性化、観光振興、環境対策へ資する事  
業、そして台風23号の大きな被害の教訓を受けましての災害に強いまちづくりのため  
の事業を予算計上し積極的に推進していく予算としています。

【参考】

(単位：千円)

	H15 末	H16 末見込	H17 末見込
公債発行残高 (一般会計)	46,794,543	47,677,752	46,431,468
財政調整基金	1,699,500	1,219,500	269,500
減債基金	224,265	74,265	4,265
その他特定目的基金	832,311	897,436	867,236
(基金合計)	2,756,076	2,191,201	1,141,001

一般会計での主な事業は次のとおりです。〔凡例： = 新規、 = 拡大等、○ = 継続〕

【総括】

- 「行財政改革推進」経費（継続）【総務費】 146 万円  
平成 17 年度は「行財政改革元年」と位置づけ、本格的な行財政改革に着手する。
- 「総合計画」策定事業（継続・完成）【総務費】 670 万円  
京丹後市の長期的な展望を示す総合計画を策定し、計画的なまちづくりを推進する。（平成 17 年 10 月完成）
- 「市勢要覧」作成経費（継続・完成）【総務費】 493 万円  
京丹後市の概要がわかる要覧を平成 17 年 11 月下旬に発行する。  
（平成 16 年度からの継続事業）

【防災】

- 「義務教育施設耐震診断」経費（新規）【教育費】 700 万円  
安心・安全な教育環境を確保するため、校舎の耐震診断を計画的に実施する。（診断予定：峰山小学校）
- 「冠水警報通報装置」設置事業（新規）【消防費】 504 万円  
台風 23 号の教訓を踏まえ「河川冠水警報通報装置」を久美浜地域の平田地区及び芦原地区にそれぞれ 1 基設置する。
- 「自治会貸与除雪機械」整備事業（新規）【土木費】 2,374 万円  
地域の自治会に除雪機を貸与し、市域の除雪力向上を図ることを目的にモデル事業として実施する。（貸与予定：乗用型 3 台、歩行型 3 台）
- 「総合防災訓練」実施経費（新規）【消防費】 271 万円  
災害の発生に備え、全市的な総合防災訓練を平成 17 年 8 月に実施する。
- 「高規格救急車」導入（新規）【消防費】 3,200 万円  
市民の生命を守るため、消防署本署の高規格救急車を導入する。
- 「市役所非常電源設置」事業（新規）【総務費】 1,155 万円  
災害に備え、市役所本庁舎に無停電電源装置を設置し、安定した情報通信基盤（IP 電話等）の確立を図る。
- 「地域防災計画」の策定（継続・完成）【消防費】 388 万円  
市全域の防災計画（震災編、風水害編、資料編）を策定し、災害時の対応指針とする。（平成 17 年 12 月完成）
- 「消防施設等整備」事業（継続）【消防費】 7,535 万円  
災害・防災体制の充実を図るため、消防車の更新及び消防車庫の建設を実施する。（消防車 2 台、拠点施設 1 棟、消防車庫 1 棟、格納庫 2 棟）
- 「防火水槽設置」事業（継続）【消防費】 2,550 万円  
火災発生時に備え、計画的に防火水槽を設置する。（3 基）

## 【特色ある地域づくり・地域の活性化】

- 「特色ある地域づくり補助金」の創設（新規）【総務費】 1,400万円  
個別の地域要望に迅速に対応するとともに、特色ある地域づくりを推進するため、市民局に予算を配分し、市民局権限を高め地域活性化を支援する。
- 「地区公民館活動交付金」(拡大)【教育費】 2,132万円  
本年度から市内全地域で公民館（全45館）が設置され、地域の特色を活かした活動を支援するため、交付金を支給する。
- 「京丹後文化のまちづくり」推進事業（新規）【総務費】 300万円  
京都オペラ座公演（平成17年10月15～16日）、能公演（平成17年12月4日）を開催し、文化のまちづくりを推進する。
- 「まちづくり活動支援」補助金（継続）【総務費】 300万円  
個性豊かな活力にあふれるまちづくりを推進するため、市民が自主的かつ、主体的に行うまちづくり推進活動に対し補助金を交付する。

## 【暮らし・福祉】

- 「市民相談室（駆け込み寺）」開設事業（新規）【総務費】 252万円  
大宮庁舎1階に市民相談室を設置し、専任の相談員（1名）を配置し、市民相談の体制強化を図る。（月～金 午前9時～午後4時）
- 「防犯灯設置」事業の拡充（倍増）(継続)【総務費】 550万円  
集落間の防犯灯（市設置：150万円）及び集落内の防犯灯（区設置＝補助金：400万円）の設置数を増加させ、安心・安全なまちづくりを推進する。（参考：H16予算 市設置：100万円、区設置：200万円）
- 「し尿収集」に制度拡充（新規）【衛生費】 599万円  
し尿収集のシステム改修を行い、し尿の計画収集の実施と口座振替による手数料収納も追加実施し市民サービスの向上を図る。
- 「児童発達支援パイロット事業」(新規)【民生費】 9万円  
幼年齢期の健やかな発達を支援するため、発達支援検討委員会を発足し幼児教育のあり方を検討する。
- 「放課後児童健全育成事業」の拡充（一部新規）【民生費】 2,940万円  
未実施町のうち丹後町（市役所丹後庁舎3階予定）及び久美浜町（久美浜農業センター）で放課後児童健全育成事業を実施する。  
（開始時期：平成17年7月予定）
- 「斎場建設計画」推進事業（新規）【衛生費】 35万円  
現在の斎場（3施設）とも老朽化が著しいため、出来るだけ早期に新規の斎場の位置を決定し、建設に着手するための調査研究経費。

- 「障害者福祉計画策定」事業（新規）【民生費】 341 万円  
 市内の障害者手帳保持者全員を対象にニーズ調査を実施し、将来の福祉施策の充実に反映させることを目指す。  
 （保持者：3,917 人、H16.4.1 現在数値）
- 「男女共同参画計画」の策定（継続）【民生費】 418 万円  
 平成 16 年度に実施した住民意識調査を基に、男女共同参画社会の実現を目指すため、計画を策定する。（平成 18 年 3 月策定予定）
- 「地域再建被災者住宅等支援補助金」（継続）【民生費】 9,585 万円  
 昨年の台風 23 号により被災した住宅等の復旧支援することにより、市民の生活基盤の安定を図る。
- 「児童医療給付費」（継続）【民生費】 9,044 万円  
 子育て支援の一環として小学生の医療費を無料化するための経費。  
 （合併協議により平成 16 年 10 月 1 日制度開始）
- 「精神障害者地域生活支援センター整備」への支援（継続）【民生費】 4,840 万円  
 社会福祉法人が設置する施設整備に対して補助金を交付し支援する。  
 （平成 17 年 9 月下旬完成、10 月 1 日開業予定）
- 「病院事業会計」繰出金（継続）【衛生費】 4 億 5,000 万円  
 弥栄、久美浜病院の経営支援

## 【産 業】

- 「環境保全型農業普及・実証プロジェクト」事業（新規）【農林水産業費】 304 万円  
 バイオガス発電施設から排出される残渣の有効活用し、環境保全型農業の普及と循環型の地域社会づくりを目指すための研究を実施する。
- 「野菜こだわり産地支援」事業（新規）【農林水産業費】 191 万円  
 国営農地での果樹の生産の基盤づくりを推進する。  
 （H17～18 の 2 ヶ年事業、黒部団地・井辺団地）
- 「認定農業者支援」事業（新規）【農林水産業費】 177 万円  
 農業の基幹的役割を担っている認定農業者の地域活動、規模拡大、新規事業等への取り組みに対し支援する。
- 「農村環境計画」策定（新規）【農林水産業費】 699 万円  
 環境に配慮した整備事業を実施するため、マスタープランとなる「農村環境計画」を策定する。
- 「茶生産振興対策」事業（継続）【農林水産業費】 2,222 万円  
 久美浜町永留及び鹿野の国営農地で本格的な茶生産実施の支援事業  
 （全体計画 H16 = 10ha、H17 = 5ha、H18 = 5ha 予定、計 20ha）

- 「パイプハウス等整備」事業（継続）【農林水産業費】 6,799 万円  
みず菜・ユリ等の特産品の振興を図るためのパイプハウス設置に対し、補助金を交付し支援する。（予定棟数：水菜＝45 棟、ユリ＝30 棟）
- 「農村振興総合整備」事業（継続）【農林水産業費】 3 億 7,875 万円  
大宮町河辺西部地区ほ場整備により区画の拡大と道路、水路を一体的に整備し、生産性の向上を図るとともに、併せて非農用地の活用を検討していく。（事業計画年度 H16～21 年度、総事業費 7 億 3,000 万円）
- 「地域水産物供給基盤整備」事業（継続）【農林水産業費】 1 億 1,003 万円  
浜詰漁港（夕日泊地）に防波ブロックを設置するとともに漁礁の据付を実施する。（事業計画年度 H14～23 年度、総事業費 10 億 650 万円）
- 「経営支援金融事業」（拡大）【商工費】 7,086 万円  
商工業者等が借り入れた事業資金の信用保証料補給及び利子負担に対して補給を行うことにより、経営の安定並びに発展を支援する。  
（利子補給金 4,269 万円、保証料補給 2,817 万円）
- 「商工会助成」事業（継続）【商工費】 1 億 3,571 万円  
安定した商工会活動を支援するため、商工会へ補助金を交付する。
- ・小規模事業経営支援事業補助 1 億 1,142 万円
  - ・織機調整事業補助 1,275 万円
  - ・地域活性化事業補助 750 万円
  - ・中小企業経営資源強化対策事業補助 330 万円
  - ・優良従業員表彰事業 74 万円
- 「丹後の魅力発信拠点整備」事業（継続）【商工費】 1,349 万円  
丹後の情報・魅力の発信と都市との交流の推進を図るため、首都圏等に官民の拠点施設を設置するにあたり効果的な施策の検討を「丹後の魅力発信拠点推進本部」を設置し推進していく。
- 「金融・経済研究会」設置事業（継続）【商工費】 64 万円  
企業の育成及び金融の活性化のための課題等について「京丹後市金融経済研究会」よりその方向について提言を受け、より具体的な検討を行う。
- 「きものサミット」開催事業（新規）【商工費】 1,000 万円  
地場産業である「丹後ちりめん」の PR 及び産業振興を目的に丹後文化会館をメイン会場に開催する。（平成 17 年 10 月 22～23 日開催予定）
- 「きもの祭」事業補助（継続）【商工費】 350 万円  
本年度は、きものサミット関連イベントとして規模を拡大し丹後あじわいの郷を中心に開催する。（平成 17 年 10 月 22～23 日開催予定）

## 【観 光】

- 「温泉施設活性化・薬草利活用」検討事業（新規）【商工費】 85 万円  
市内の温泉施設のさらなる有効活用や健康産業の創設・連携を図るため、中国<sup>はくしゅう</sup>亳州市との連携も視野に入れた薬草市場の開発、薬湯・薬膳料理の研究など行う。
- 「丹後観光協会連絡協議会」設立（新規）【商工費】 1,000 万円  
丹後観光協会連絡協議会を設立し、統一した観光ポスターやホームページによる予約システムの確立などなどの観光宣伝事業を実施する。
- 「丹後周遊ボンネットバス（丹後まるごとゆるり旅」運行事業（新規）【商工費】 150 万円  
丹後あじわいの郷を中心に、市域の観光施設や美しい海岸線、高原等を巡るバスを運行し、観光振興を図る。（20 回運行予定）
- 「観光活性化」事業（新規）【商工費】 85 万円  
旅館・民宿業等の「女将さん」を対象にした創作料理セミナーや観光や料理調査・検討会を実施し、キャリアアップ及び新たな観光産業の展開を図る。
- 「丹後あじわいの郷年間パスポート」発行（新規）【商工費】 49 万円  
丹後あじわいの郷を市民に身近で利用しやすい公園とするため、入園パスポートを各世帯に配布する。（4 月中に配布予定）  
（丹後あじわいの郷が作成、2 市 4 町を対象、有効期限平成 20 年 3 月末）
- 「静御前関連観光施設整備」事業（継続）【商工費】 5,386 万円  
網野町磯区の「静神社」の周辺に能舞台風の展望台、遊歩道を整備し、観光振興の促進を図る。
- 「丹後縦貫林道リフレッシュ事業」（拡大）【農林水産業費】 3,378 万円  
丹後半島の交通網のネットワーク化を促進し、林業振興、観光振興等、地域の活性化を図るとともに緊急時の連絡道としても活用するため、丹後縦貫林道の整備を推進する。
- 「観光サイン」整備事業（継続）【商工費】 1,000 万円  
統一ブランドデザインにより市内外の観光サイン（看板）を段階的に更新し、京丹後市の宣伝及び観光客の誘致を図る。（全体事業費 5,000 万円）

## 【環 境】

- 「うみかぜ風力エネルギー普及モデル」事業（新規）【衛生費】 1,213 万円  
地球温暖化防止対策の一環、京都府が実施。この受け皿として自然エネルギーの普及対策事業として「地球温暖化対策地域協議会（住民等主体の自主組織）」を設立するとともに、小型風力発電施設の普及モデルを丹後町地域で実施する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中型風力発電施設 10kw 級 1 基 公共施設</li> <li>・ 小型風力発電施設 1kw 級 3 基 一般居住用</li> <li style="padding-left: 100px;">2kw 級 2 基 民宿等用</li> </ul>	}	
「地球温暖化防止実行計画」策定事業（新規）【衛生費】		735 万円
地球温暖化防止のため、全庁的な策定検討組織を設け、温室効果ガス排出削減の実行計画を策定する。		
「エコドライブ」普及促進事業（新規）【衛生費】		160 万円
温室効果ガス排出抑制のための「エコドライブ事業」を実施し、地球温暖化防止意識の高揚を図る。		
（事業開始 H16.10.5～、244 台（うち 100 台））		
○ 「京都エコエネルギープロジェクト新エネルギー等地域集中実証研究」事業		
（継続）【衛生費】		215 万円
バイオガス発電の本格的な実証研究が平成 17 年 11 月から開始され、事業紹介や環境学習を推進する。（施設完成：7 月下旬）		
<b>【教育・文化財】</b>		
「赤坂今井墳丘墓発掘調査」事業（新規）【教育費】		2,200 万円
赤坂今井墳丘墓の中心埋葬施設の発掘調査を専門機関へ委託実施する。		
「市史編纂」経費（新規）【教育費】		133 万円
古文書や社寺等の文化財の歴史資料や美術工芸品の所在把握及び調査を行い、将来、「京丹後市史」を編纂する際の基礎資料としても活用する。		
「笹葺民家建築調査」経費（新規）【教育費】		113 万円
大宮町五十河地区に笹葺民家の文化財的な価値を判断するための基礎資料を収集することを目的に実施する。		
「皴榎」保全委託事業（新規）【教育費】		105 万円
台風 23 号で被災した「浦島伝説」とも関連のある「皴榎」の樹木診断及び保全作業を実施する。		
「スクールサポーター設置」事業（拡大）【教育費】		4,009 万円
生徒・児童の健やかな発達及び教育環境の充実を図るため、スクールサポーター（介護職員、チームティーティング、心の相談員）を配置する。（小学校：19 人、2,435 万円 中学校：14 人、1,574 万円）		
「青少年の翼」事業（新規）【教育費】		321 万円
市内中学生（20 人）に海外での生活体験する機会を与え、将来、国際的な視野で活動できる人材育成を目指す。		
「国際交流」推進事業（新規）【総務費】		409 万円
海外から自治体職員を受け入れ、教育委員会に配置し、教育行政・企画運営の研修及び交流を図る。（中国、6 月から 10 ヶ月間の予定）		



- 「外国語指導助手」招致事業（継続）【教育費】 3,294 万円  
引き続き外国語指導助手を配置し、小中学校を訪問することで外国語教育の充実と国際交流の進展を図る。

【インフラ整備】

- 「道路改良事業」(継続)【土木費】 4 億 1,426 万円
 

道路維持修繕	4,525 万円
道路改良	2 億 7,475 万円
橋梁新設改良	2,668 万円
辺地対策道路	2,080 万円
過疎対策道路	1 億 3,804 万円
地方道路臨時交付金事業	9,202 万円
交通安全施設整備事業	6,402 万円
  
- 「アメニティ久美浜」整備事業（継続）【土木費】 1 億 4,950 万円  
アメニティ久美浜整備計画に基づき、連絡橋（歩道橋）及び緑地公園を整備する。
- 「八丁浜シーサイドパーク整備」事業（継続）【土木費】 1 億 500 万円  
多目的芝生広場、流末排水路を整備する。  
(全体計画：平成元年度～平成 20 年度、総事業費 25 億 900 万円)
- 「都市計画マスタープラン」策定事業（継続）【土木費】 1,310 万円  
京丹後市発展の基盤となる都市計画確立のため、マスタープランの策定を行う。  
(平成 17 年度～平成 19 年度の 3 ヶ年の債務負担行為設定事業)
- 「市営住宅松岡団地建替整備」事業（継続）【土木費】 1 億 345 万円  
集会所 1 棟及び公園を整備するとともに、アクセス道路の整備を実施する。  
(全体計画：平成 16 年度～平成 20 年度、総事業費 6 億 9,745 万円)
- 「街なみ環境整備」事業（継続）【土木費】 6,685 万円  
久美浜一区において、伝統的な街なみの保存と生活基盤施設の整備を行い、ゆとりと潤いのある住宅地の形成を図る。  
(全体計画：平成 16 年度～平成 25 年度、総事業費 9 億 3,717 万円)
- 「公共下水道事業特別会計繰出金」(拡大)【土木費】 8 億 5,000 万円  
市内 6 地区で下水道整備を計画的に整備していく。

【災害復旧費】

- 「農林水産業施設災害復旧事業」(継続)【災害復旧費】 1億3,512万円  
台風23号で被災した農林水産業施設の災害復旧経費
- 「公共土木施設災害復旧事業」(継続)【災害復旧費】 9,770万円  
台風23号で被災した公共土木施設の災害復旧経費

などを計上しております。

特別会計、企業会計におきましては

【簡易水道事業特別会計】

- 宇川、竹野、神野簡易水道施設改良事業 4億4,086万円

【集落排水事業特別会計】

- 佐濃地区農業集落排水基本設計事業 56万円
- 公共樹設置事業 294万円

【公共下水道事業特別会計】

- 峰山、大宮、丹後、橘、網野、久美浜地区の下水道事業の継続 17億8277万円

【浄化槽整備事業特別会計】

- 久美浜地域の浄化槽整備(25基) 3,660万円

【水道事業会計】

- 京丹後市水道事業の創設認可事業、各浄水場・老朽管整備事業 2億856万円

また、現在京都府丹後広域振興局で策定されております、「京都府丹後活動プラン」との整合、連携を図り府市一体となり丹後の明日に向かって様々な活動プランの推進も図っていききたいと存じます。

なお、当初予算の中には具体的な費用は計上しておりませんが、現在の本庁と市民局のあり方などの組織機構や職員配置につきましても、検討を行っておりますので、できるだけ早い時期に機構改革も実施していききたいと考えております。